

No.	項目	内容	事務局回答
64	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	・政策1、2ともに市民に向けてというより対外的な施策（市外の人へのPR）といった印象を持つ。地域資源のPRや観光戦略などによる交流人口の拡大に向けた取り組みを強化する一方、現在住んでいる市民が地元に対する愛着を高めるための施策が必要だと考える。愛着は生活環境などの住みやすさに加え、郡山市民として誇れる文化・歴史の有無に関わると思う。 政策3において、「地域文化を通じた愛着の形成（醸成）」といった「地元愛」を育む施策の記載が必要だと考える。	ご意見を参考に修正を検討してまいります。
65	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	●全体として目的が不明瞭である。何のために「にぎわい」をつくるのか、手段と目的の関係を明確にすべきである。 ・にぎわいづくり自体が目的化しているように見える。（観光については地域経済の活性化という目的が明記されているが）にぎわいの結果、何をしようとしているのかを明確にすべきであるし、そうでなければ適切なKGI・KPIの設定は不可能である。 ・おそらく、KGIに社会増減に関する指標が盛り込まれていることから「観光客の増加→交流人口・関係人口の増加→転入の増加」を見据えているものと解しているが、その流れが妥当なのか（かかわりのある地域だからといって人は本当に移住するのか）は慎重に検証すべきではないか。	かかわりのある地域だからすぐに移住につながるとは考えておりませんが、「かかわりのない地域」へは移住につながりにくいと考えております。 そのため、にぎわいが増えることにより、交流人口・関係人口の増加による転入者の増に加え、地域への愛着形成等による転出減が目指す姿と考えております。
66	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	●音楽・文化・歴史資産の継承等により、①現役世代の市民へは地域への愛着（シビック・プライド）の育成、②次代の市民へは文化継承の責務を果たすこととし、継承・活用された資源が③域内外からの誘客、それによる域内消費の拡大（地域経済の活性化）をもたらす、という流れで整理したほうが、手段と目的が明快になるのではないか。	ご意見を参考に修正を検討してまいります。
67	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	●KGIは一人当たりの旅行消費額より観光客数も加味できる総額が妥当ではないか。	ご意見を参考に指標の変更を検討してまいります。
68	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	●イベント等で発生する渋滞など「負の側面」へ対する配慮も一文で良いので入れておいた方が良いのではないか。	ご意見のとおり、湖南七浜や布引高原のひまわり開花時期における交通渋滞などオーバーツーリズムが発生している案件もございますが、イベント等により発生理由が異なる面もございますので、個別事業において対応してまいります。
69	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	「楽都郡山」と言っているが、市民に定着している様子は感じられない。発車メロディや駅前広場にあるGRe4N BOYSの扉など少しずつ市民への定着を継続して続けていくべきではないか。7時・18時の音源についてや音楽に触れる機会・イベントや催しを増やしてみるの？	昨年開催した市民会議「ネクスト100未来戦略会議」において、郡山の魅力や理想の暮らしの中で出てきたキーワードとして多かったのが「音楽」でしたので、ご意見を参考に担当部署と協議の上、現在策定中の行政計画の中で整理してまいります。
70	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	「関係人口」という言葉の意味（移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々）を市民にも分かりやすく記載し、シビックプライドの高まりを拡張するきっかけをつくるべきだと考える。	スペースや他の文言との整合性を考慮し、関係人口の意味の掲載について検討してまいります。
71	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	・15-19歳女子の転出超過は進学によるものが大きいとみられる。郡山女子大学や看護系学校の立地があり純移動率の維持に貢献しているものとみられるが、量的には女子高校生にとっての魅力的な進学先が不足していると言える ・ここで女子生徒の進学先を誘致することを考えるとして、その困難さをひとまず棚上げすれば、「楽都」を標榜する本市において音楽大学が立地すれば大変効果的だろう。さらにそれを市立で設立したとすれば公立の芸術系大学は大変希少で競争率が高いことから、全国から入学希望の学生が殺到することは間違いなく、そのうち多数は女子となるだろう。市立の音楽（ないし芸術系）大学の設置は人口動態だけではなく、本大綱の文化的な意味で非常に効果的である。原案記述「次世代の文化芸術活動を支える教育環境」の最も有効な事業と言える。一方で設立へのハードルは極めて高く、その前段としての大規模な音楽祭・芸術祭の開催、郡山市の官民あげた運動、寄付を含む財源確保、少子化の日本における大学新設への抵抗を超えることなどが必要である。少なくとも今次の総合計画期間中に実現できるとは考えづらいが、そのような気運の醸成に着手することは可能である。 ・とはいえ本答申にて芸術系大学の設立を提案するには時期尚早と思われるが、上記「教育環境」の整備については高等教育年代まで含めて具体的かつ効果的な方策を講じるよう、答申することを提案したい。	ご意見の内容については、ほかの委員の皆様のご意見も踏まえながら答申案へ向けて整理してまいります。
72	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	① 駅前商圈への有名ファッションブランド店の誘致 ② 駅前飲食店における食堂・カフェ・レストラン等の店舗率の上昇 ③ 有名アーティストとの定期的なコラボレーションによる音楽都市イメージのアップ	駅前に限らず各種企業・店舗の出店は地域の活性化・雇用の創出に、音楽都市のイメージアップは本市のにぎわいにつながることから、その手法も含め現在策定中の行政計画の中で整理してまいります。

No.	項目	内容	事務局回答
73	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	郡山の強みは交通の要であり、東北の中では物理的に郡山市が一番東京に近いといえると思います。そのような中、郡山市は宣伝・アピールが下手であると感じます。現状把握、問題点リサーチ、改善が常に必要です。大綱Ⅱでも述べたように、東京で専門知識を得た方々で地元に戻っている方、戻りたいと思っている方を活用し、効果的な宣伝方法や施設の効率的な利用方法等について検討していただきたい。郡山のために、役に立ちたいと思っている方はたくさんいます。	効果的で積極的な広報・シティプロモーションができるよう、現在策定中の行政計画の中で整理してまいります。
74	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	公共施設の戦略的活用 ●ビッグアイなど、好立地ながら活用しきれていない公共施設に対し、官設民営（PFI/PPP）の手法を導入し、積極的なエリアマネジメントを行う。	本市では、H29.3月に郡山市PFIガイドラインを策定し、より少ない財政支出で質の高いサービスが提供できるよう努めているところです。同手法については、現在策定中の行政計画の中においても、引き続き積極的に活用してまいります。 なお、ビッグアイにつきましては、民間の商業施設等が所有・出展している複合ビルでもあり、有効活用については関係団体との協議も必要であることから、担当部署と協議の上、検討してまいります。
75	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	スポーツ振興の対象拡大 ●Bリーグの「福島ファイヤーボンズ」だけでなく、BCリーグの「福島レッドホープス」も同様に、市の魅力として積極的にアピールする。	市内に本拠地を置くプロスポーツチームである、福島ファイヤーボンズ、福島デンソーエアリービーズ及び福島レッドホープス3チームとも本市の活性化に資するチームと考えておりますので、引き続きスポーツ振興課トップスポーツチーム連携係を中心ににぎわい創出に努めてまいります。
76	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	郡山市が「楽都郡山」の名のもと、音楽文化と教育、産業、交通が融合する中核市として発展していくため ①文化とまちが一体となる「音楽・芸術」のまちづくり ＊駅前・公園等を活用した「ミュージック・アートフェス」の定期開催 ＊音楽堂の建設 ②にぎわいと観光の創出 ＊音楽・食・光の融合によるナイトカルチャーイベント ＊地域資源 日本酒・農産物・アートを活かした郡山ブランドマルシェの展開	①文化とまちが一体となる「音楽・芸術」のまちづくり、②にぎわいと観光の創出は、大綱Ⅲの分野で重要な視点でありますので、答申案に向けて整理してまいります。 ご意見いただいた各種事業につきましては、担当部署と協議の上、検討してまいります。
77	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	・自分のやりたい事、学びたい事ができる環境の整備 ・同じ目的を持ったコミュニティづくりの支援 ・発信したくてもできない方への支援(SNS活用講座等)	ご意見の内容は基本方針の一つである笑顔になれるまちに向けて重要なことを端的にご指摘いただいていると考えておりますので、答申案の中で整理させていただきます。
78	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	政策1 観光振興と～ 地域住民との連携 地域住民が観光振興に参加できるような取り組みを進める。また、観光客との交流できる場を設け、人柄を含めた郡山市の良さを知ってもらいリピーターを創出する。	関係人口・交流人口を増加させるためには、魅力的なコンテンツ等の造成だけではなく、人と人とのつながりを作ることも重要であると考えております。ご意見につきましては、個別事業への反映を検討してまいります。
79	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	郡山市としても観光客向けの「コト消費」を展開しているが、音楽都市としての郡山も体験してもらおう。例えば、「音楽教育体験ツアー」として合唱・楽器演奏を体験してもらおうなど。	ご意見いただいた事業につきましては、担当部署と協議の上、検討してまいります。
80	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	地元プロスポーツチームの存在は、にぎわいの創出だけでなく、本審議会でもたびたび出てくる郡山市に対する「愛着」にも大きな影響を与えるものとする。地元スポーツチームを盛り上げていくことは、一旦進学等で郡山市外へ出た若者の「戻ってきたい」との思いにも繋がるものと思われる。	ご意見のとおり、市内に本拠地を置く3つのプロスポーツチームは地域活性化だけでなく、愛着形成にも寄与する考えますので、答申案に向けて整理してまいります。また、引き続きスポーツ振興課トップスポーツチーム連携係を中心に各チームと連携してまいります。
81	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	○郡山は東北の交通の要衝であり、その利点を活かしたプロモーションが重要と考えられる。	ご意見につきましては答申案に向けて整理してまいります。
82	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	○うねめ祭りなどでも、地元の人たちの参加も重要だが、若い年代の参加者に郡山市のブランド化につながる全国区のコンテストイベントなどを考えていただき、郡山市のうねめ祭りといえばこれ、というブランド化とともに、全国から若者が集まる機会とするのも一つの手と考えられる。（例えば、阿波踊り、よさこい、eスポーツなど）	郡山商工会議所様のご意見も伺いながら検討してまいります。

No.	項目	内容	事務局回答
83	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	政策3の施策①と②について、音楽も「文化・芸術」に含まれると見ると施策の違いが見えにくいかと思います。伝統芸能や地域文化の後継者不足を鑑みますと、伝統文化のPR（触れる機会）、継承するための人材の育成とそのための財源のサポート体制に関する内容を取り入れることを検討してください。また、近年外国人の人口が増加傾向にあることから、これまでの伝統芸能や地域文化の継承に加えて外国からの新しい文化にも触れて学ぶための環境整備について取り入れることを検討してください。	昨年開催した市民会議「ネクスト100未来戦略会議」において、郡山の魅力や理想の暮らしの中で出てきたキーワードとして多かったのが「音楽」でしたので、あえて文化・芸術とは別項目としましたが、担当部署と協議の上、文言の修正や施策の統合について検討いたします。そのほかのご意見につきましても、現在策定中の行政計画の中で整理できるよう検討してまいります。
84	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	・繋がりの拡充(ボランティア、コミュニティ など) ・郡山駅前の活性化(駅チカイベント、空き店舗対策、景観デザインなど) ・イベント展開の拡充(音楽フェス、フードフェス、読書イベント、フリーマーケット、クリスマスマーケット、ランタンフェス、野外映画上映会など) ・開成山公園を活用したイベントの拡充	駅前や開成山公園等でのイベント等をはじめ、エンターテインメントは若者を惹きつける大きな魅力であることから、現在策定中の行政計画の中で整理し、各事業へ展開してまいります。
85	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	①57ページの政策2に「大規模イベント時の最適な交通システムの整備」を追加 理由:プロスポーツ試合や文化センターでのイベントにおいて、最適な交通システムを整備する事により、渋滞の防止と市外からの来訪者数の増加を図る為	大規模イベント時のみならず、通常時においても最適な交通システムの整備を現在策定中の行政計画の中で整理してまいります。
86	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	②12、58ページの政策2のKPI 上記の「大型イベント時の最適交通システムの整備」に対応して、浄水場跡に駐車場を整備してボンズアリーナへの市外からに集客力アップを図るとか、駐車場出入り口の改善や一方通行ルートを検討して渋滞防止を図れないでしょうか？	大規模イベント時のみならず、通常時においても最適な交通システムの整備を現在策定中の行政計画の中で整理してまいります。 浄水場跡地につきましては、現時点では、「グリーンインフラ」の考え方を基本としておりますが、引き続き市民の皆様のご意見を伺いながら活用方法の検討を進めてまいります。
87	大綱Ⅲ交流・にぎわい・文化	③58ページの政策2のKPI 一つ目と二つ目が、ファイヤーボンズを対象にしたものと想定しますが、これにエアリービーズも是非とも追加して頂きたく考えます。 SVリーグは、日本のトップリーグですので郡山市を活性化させる大きなチャンスと信じます。	政策2のKPI1つ目につきましては、市内に本拠地を置くプロスポーツチームである、福島ファイヤーボンズ、福島デンソーエアリービーズ及び福島レッドホープスを想定しており、3チームとも本市の活性化に資するチームと考えておりますので、引き続きスポーツ振興課トップスポーツチーム連携係を中心ににぎわい創出に努めてまいります。 KPI2つ目のファンクラブ会員数については、プロスポーツチームのファンクラブ会員数ではなく、市外在住の方を対象とした「こおりやまファンクラブ」の会員数増加を目標にする指標であることから、指標名を修正いたします。

No.	項目	内容	事務局回答
88	大綱Ⅳ 医療・福祉	・施策を見ると、全体として高齢者向けという印象。高齢者対象の施策は非常に重要だが、その他の世代から見て「医療・福祉施策は主に高齢者向け」という印象を持たれるのはよくないと思う。 「どの世代も」（政策2）「だれもが」（政策3）との記載はあるが、高齢者以外にも具体的に触れることで、重視する視点「誰もが安心して～」につながるのではないか。 施策に「障がい者」「子ども／子育て世代」といった高齢者以外の施策も盛り込んだ方がいいと考える（「障がい者」は施策②に記載があるが個別の項目で）。	ご意見のとおり、高齢者以外も対象としていることがわかりやすいよう施策名の変更を検討してまいります。
89	大綱Ⅳ 医療・福祉	●目指す姿に県中医療圏全体を含めた視点も盛り込んでほしい。 ・郡山市の人口10万人当たりの医師数は289.57であり、全国平均289.66と遜色はないものの、実質的には周辺地域の医療需要にも対応している点も考慮して、医療資源の適正規模を評価する必要がある。そのうえで、県中医療圏の医師数は228.5にとどまっており、今後の医療需要の高まりを見据えると、限られた医療資源をいかに効率的に活用するかが重要な課題となる。 ・一方で、人口当たりの病床数は郡山市・県中医療圏ともに全国平均を大きく上回っており、持続可能性な体制構築は医療・福祉の充実だけでなく、適正化の観点も踏まえたものとしてほしい。	ご意見を参考に指標の変更、文言の修正を検討してまいります。
90	大綱Ⅳ 医療・福祉	●文言として「共生社会」ではなく「地域共生社会」を使用するほうが、他計画と整合性が取れるのではないか。	ご意見を参考に変更を検討してまいります。
91	大綱Ⅳ 医療・福祉	●大綱Ⅱで触れられている「医療・健康関連産業」について、大綱Ⅳでも関連した言及ができないか。	ご意見を参考に変更を検討してまいります。
92	大綱Ⅳ 医療・福祉	●KPIを最終アウトカム指標に該当するものに揃えるべきではないか。 ・P62に記載のKPIの中には「がん検診の平均受診率」や「いきいき百歳体操参加者数」、「ゲートキーパー養成研修参加者数」などアウトプットや初期アウトカムと思われる指標が混在している。 ・例えば、「がん検診の平均受診率」は個別計画等に盛り込み、悪性新生物による標準化死亡比を1程度にするなどのほうが妥当ではないか。なお、郡山市の標準化死亡比を見る限りでは、がんよりも急性心筋梗塞などの循環器系の疾患のほうが多いようにみえるため、本当にがん対策を特出しすべきかも判断が必要ではないか。（なお、健康分野については明るくないため原課とも調整のうえ判断してもらいたい。） ・また、「いきいき百歳体操参加者数」については、明らかにアウトプット指標のため再考を願いたい。おそらく、KGIに要介護認定率を使用してしまったために介護予防を測る適当な指標が見当たらなかったが故の対応ではないかと思われる。もし、そうであるならばKGIに健康寿命を盛り込んでいるのであれば、要介護認定率はKGIではなくKPIとしても良いのではないか。	ご意見を参考に指標の変更を検討してまいります。
93	大綱Ⅳ 医療・福祉	高齢化が進む中で今後高齢者の1人住まいがより多くなると考えられる。孤独死やうつ病などを予防しながらも、自立した生活を送り健康的な生活を送れるような支援が必要だと考える。	社人研において2050年における65歳以上の独居率は男性：59.7%、女性30.2%と推計されており、ご意見のとおり今後高齢者の1人住まいは増えていくと予想されますので、ご意見の内容は答申案に向けて整理してまいります。
94	大綱Ⅳ 医療・福祉	（質問）2026年度～2033年度の間に65歳以上を迎える現57歳～64歳の市民のスマホ普及率、オンラインサービスの活用状況などを調査しているか。	ご質問の「57～64歳の市民のスマホ普及率の調査、オンラインサービスの活用状況」について、市単独の調査はしておらず、数字は把握しておりません。しかしながら、総務省の通信利用動向調査（2024）において以下のような結果がでており、本市においても概ね全国及び福島県の数字と同程度であると推察しております。 ・（全国）モバイル端末の保有率：87.0% ・（全国）年齢階層別インターネット利用率 50歳台：96.9%、60歳代：90.4% ・（福島県）インターネット利用者の割合：85.4%
95	大綱Ⅳ 医療・福祉	① 中小企業における高齢者雇用継続支援	高齢者の雇用継続支援については、65歳超雇用推進助成金制度を国において行っていることから、市独自での実施については担当部署と協議の上検討いたします。

No.	項目	内容	事務局回答
96	大綱Ⅳ 医療・福祉	郡山は医療システムが整っているので、転勤族の方でも子どもの進学時期を考えて郡山市に家を建てる人が多い。また、郡山市は交通の便がいいので、車があれば総合病院、クリニック、学校、スーパー、行政支所などに容易に行くことができる点も素晴らしい。都会で結婚し子供を持ちたいと思ったとき、大半は母親の実家の近くで子育てがしたいと思うと思っている。父親の育児参加も増えてきたが、実際に妻の要望に応じて、転職して郡山市に来る方もいるので、そのような方向けの子育て誘致を検討するのもいいと思います。	移住相談窓口でも、「妻の実家がある福島に移住を検討している」、「実家は県内の別自治体だが交通の便のいい郡山市に移住したい」などの相談は一定数ございますので、ご意見のとおり医療や交通の充実等、郡山市の強みを各種事業において活かしてまいります。
97	大綱Ⅳ 医療・福祉	Iテクノロジーによる担い手不足対策 ●医療・福祉分野における人材不足を補うため、ICTやIoT技術（見守りセンサー、オンライン診療等）の活用を具体的な施策として盛り込む。 複雑な課題への対応力強化	医療・福祉分野での人材不足対策は重要課題であるため、答申案に向けて整理してまいります。
98	大綱Ⅳ 医療・福祉	●「孤立＋困窮＋障がい」など、複数の要因が絡み合う複合的課題を抱え、制度の狭間にいる人々への支援体制を構築するアプローチを検討する。	ご意見の内容は答申案に向けて整理してまいります。
99	大綱Ⅳ 医療・福祉	●郡山市では他都市と比較して多くの医療機関が集積し、充実した医療提供体制がアピールポイントとなっている。一方で地域医療においては、医師の高齢化、医療従事者の人材不足、働き方改革、物価高騰等により、救急医療等において非常に厳しい状況になっている。 ・地域医療は社会インフラとの認識のもと、医師、看護師、介護職の人材確保を医療機関、行政、関係機関が一体となって進めていく必要 ・人材確保の具体策として、小中高生の職業体験、資格取得支援(費用補助)、潜在資格者の再就業促進、外国人人材への各種支援(学費、日本語学習、生活支援等) ●郡山市では「第三次みなぎる健康 生きいきこおりやま21」(2024～2035)を策定し、郡山市の疾病特性等を踏まえた市民の健康増進施策を進めている。重要指標として「健康寿命」が挙げられているとおり、この分野においては市民の健康増進が重要なので計画案において健康施策を充実していくことを強調すべき。	救急医療体制や多様な診療科を標ぼうする診療所が整っていること、また、医療関連の企業等が集積していること等は、本市の大きな強みであると認識しております。市民の命と健康を守る医療関連人材の確保と健康増進施策の充実を図ります。健康関連指標につきましては、「第三次みなぎる健康 生きいきこおりやま21」との整合を図ってまいります。
100	大綱Ⅳ 医療・福祉	市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる医療・福祉都市郡山を実現するため ①地域包括ケア体制の強化 ②医療・介護人材の確保と働きやすい環境づくり ③ICTを活用した医療・福祉の効率化 ④災害・感染症に強い医療・福祉体制の構築	適切や医療・福祉体制が整っていることは郡山市が選ばれるまちになるために重要であることから、答申案に向けて整理するとともに、現在策定中の行政計画の中で整理してまいります。
101	大綱Ⅳ 医療・福祉	・ウェルビーイングな生活ができる環境づくり ・健康への関心の向上	本総合計画においては、ウェルビーイング指標を用いて、市民がどのように幸福や満足感を実感しているかという主観的な評価をあわせて行う予定です。また、本年度の市民意見レーダーにおいて、幸福かどうか判断する際に最も重視するものが「健康状況」という結果が出ていることから、現在策定中の行政計画の中でも引き続き健康への関心の向上に向けて取り組んでまいります。
102	大綱Ⅳ 医療・福祉	施策1 地域医療体制の～ 市内医療機関、クリニック、薬局、リハビリ施設等の連携により、適切な医療が受けられるようなネットワークの構築。	ご意見のとおり適切な医療が受けられるネットワーク構築は、選ばれるまちを目指す本市にとって重要事項と考えております。現在、第九次郡山市高齢者福祉計画・郡山市介護保険事業計画（地域包括ケア計画）等に基づき医療機関等との連携促進による体制の充実を図っていることから、答申案に向けて整理するとともに、現在策定中の行政計画の中で引き続き推進してまいります。
103	大綱Ⅳ 医療・福祉	地方クリニックや病院に対し、医師の地域勤務を促進する制度的な支援や助成金を提供し、医療機関の医師確保を支援する。	医療体制が充実していることは本市の大きな強みであることから、医療関連の人材確保については答申案に向けて整理してまいります。
104	大綱Ⅳ 医療・福祉	○少子高齢化を迎えるにあたり、健康な高齢者が活躍でき、若い方の活躍につながる場を検討、設定、提供し、健康寿命の延伸にもつなげる。	健康寿命の延伸については、KGIにも設定しているとおりのこの分野における重要事項の1つと考えておりますので、ご意見の内容は答申案に向けて整理してまいります。

No.	項目	内容	事務局回答
105	大綱Ⅳ 医療・福祉	○医療や福祉についても、必要な人に必要な形で提供できるよう見直し、選択と集中を進めて、費用の削減とサービスの向上の両方を目指す方法を検討していく必要がある。	第1回の審議会において事務局からご説明申し上げたとおり、現在の市の財政状況は楽観視できる状況ではないことから、すべての分野において財政支出の選択と集中の考えは重要と考えております。本分野においても費用の削減をしながらも、サービス向上につながるよう現在策定中の行政計画の中で整理してまいります。
106	大綱Ⅳ 医療・福祉	政策目標の「認知症サポーター数」に関して、サポーター数の大小だけではなく、認知症の人1人あたりに換算した目標数値やオレンジカフェ（認知症カフェ）等のサポート拠点数を示すことなどを検討してください。	ご意見を参考に指標の変更を検討してまいります。
107	大綱Ⅳ 医療・福祉	施策3政策②及び政策4施策②に関して、高齢者や障がい者の個性豊かな生活を継続する前には、その抛り所となる住まい（医療・福祉施設を含む）が適切に確保されていることが求められますので、住環境整備についても取り入れることを検討してください。安心して住み続けられる住まいの確保については、働く人々についても重要な要素となりますので、大綱Ⅱの労働力不足、若年層の流出とも関連があると思います。	ご意見の内容は答申案に向けて整理してまいります。
108	大綱Ⅳ 医療・福祉	P59-4段落目「認知症対策」→「認知症施策」とした方がよろしいでしょうか。	ご意見のとおり文言修正を検討してまいります。
109	大綱Ⅳ 医療・福祉	・単身者への通院サポート ・休日・夜間の医療体制の強化 ・単身の高齢者への支援 ・バリアフリー化の推進	ご意見の内容は郡山市を選び、定住してもらううえでとても重要なことですので、各事業へ展開できるよう庁内で検討いたします。
110	大綱Ⅳ 医療・福祉	①大綱4の62ページ 政策2のKPIに、是非とも「認知症予防活動」を追加して頂きたいと考えます。 認知症増加とその介護は、少子化と並ぶ重要課題です。しかも、病気や怪我による介護体制と比較して難しく整備が遅れています。市としては、この認知症予防の施策を何とかして取り入れて欲しいと願っています。	ご意見のとおり認知症対策については重要課題と考えておりますが、認知症予防活動の具体的な事業展開につきましては、現在策定中の行政計画の中で整理してまいります。

No.	項目	内容	事務局回答
111	その他意見	●全体を通して「郡山らしさ」が感じにくく、全国の他の中核市でそのまま使えそうな素案という印象が否めない。総計である以上、網羅性も重要であるが総花的になるのではなく優先順位を明確にし、個性と戦略性を打ち出すべきではないか。 ・都市間競争が強いられる現代において自治体も何らかの形で個性（強み）を明確にし、自治体経営を行っていく必要がある。郡山市は、その広大な市域ゆえに全体としての個性が打ち出しにくいのは事実としてあるだろうが、安積開拓を契機に福島県の中心に位置する交通結節点としてのポテンシャルを活かし、ゼロから工業、商業の中心として繁栄を築いた歴史は全国的にも珍しい唯一無二の個性である。 ・無個性でお洒落なミニ東京になる必要はなく、今後の予想される社会経済変化を踏まえ、強みを伸ばし、弱みを緩和する戦略的な計画を目指していくべきではないか。	ご意見を参考に修正を検討してまいります。
112	その他意見	●各大綱でコメントもしているがKGI、KPIと目指す姿・政策（施策含む）との関連性が分かりづらい。せめて、各政策の目的・目標を明確化した表記方法にしてほしいし、すべての政策分野でなくても良いので、重点分野についてロジックモデルで整理するなどの対応も検討してもらいたい。	ご意見を参考に修正を検討してまいります。
113	その他意見	素案におけるSDG s の立ち位置についてP.43～P.44のページ下部にあると分かりにくいと思う。基盤的取り組みならば施策の横に大綱Ⅰ～Ⅵにまたがるような表現をするなど分かりやすい所に表記するべきだと考える。P.71～P.74のSDG s の大綱Ⅵまでの後に載せるより最初に載せた方が基盤的立ち位置なのが伝わるのではないか。市民に総合計画について知ってもらい理解してもらうためにも、市民目線の分かりやすい書き方にするのはどうか。将来都市像も簡潔で理解しやすい方が市民に浸透しやすいと考える。	SDGs及びこおりやま広域圏については、全分野にまたがる基盤的な取り組みと位置づけておりますので、ご意見のとおり、市民にとってわかりやすくなるよう掲載の仕方について工夫してまいります。 また総合計画全体の書き方、将来都市像についてもわかりやすさを重視し作成に努めてまいります。
114	その他意見	「将来都市像」のキャッチフレーズは、さまざまな立場や視点での要素を盛り込む必要があることは理解しつつ、やはりまちづくりの主体となる市民の意識変容・行動変容を起こすような端的なコピーにまとめ、計画性を持って市民との接点（広報）を作っていくことがよいと考える。	今後、事務局案として提示する際の参考にさせていただきます。また、市民との接点（広報）についても、よりよい広報ができるよう担当所属と協議してまいります。
115	その他意見	・人口動態の関連指標は、就学、就業、育児、環境、その他の生活利便性・快適性、郷土愛等に係る、まちづくりの「良さ」、すなわち「いかに選ばれるまちであるか」の結果である。住民、移住を検討する他地域の人々にとって住みよい・住みたい地域にすることが第一であり、人口動態を正の方向にすることを目的視することは適切でない ・人口動態はまちづくりの各分野によってその達成度についてアウトカム指標とはなりえるが、各分野をモニタリングするには各々、適切な人口動態指標を選定すべきである。	ご意見を参考に指標の変更を検討してまいります。
116	その他意見	郡山は住みやすい都市であるので、そのメリットを若い方や都会で得た専門知識を持つ方などを活用し、積極的に内外にアピールしてほしい。また、行政だけで結論を出すのではなく対象となる市民の生の声を聴いてほしい。	大綱Ⅵ政策3施策③の中で、市民の声を活かすまちづくりについて推進してまいります。答申案に向けて整理してまいります。
117	その他意見	●大綱Ⅴにはゼロカーボンの実現や、MaaS等先進技術の実証実験など意欲的な内容を盛り込みたい。	本総合計画の計画期間である2033年までのゼロカーボン実現は困難と考えておりますが、温室効果ガス排出量の削減は全国的な重要課題であると認識しておりますので、KPIに設定のうえ将来的なゼロカーボン実現に向けて取り組んでまいります。 快適な移動手段の確保は本分野の重要事項と考えておりますが、具体的な事業の実証実験等につきましては、現在策定中の行政計画の中で整理してまいります。
118	その他意見	○今回、大綱ごとにコメントする形になっているが、それぞれの大綱の相互連携による解決も課題の解決につながる重要な視点と考えられます。それぞれの大綱の議論の中で、それらの連携についてもご意見をいただき、議論できると有益であると思います。	事前意見の伺い方や議論の進め方について、事務局で検討してまいります。
119	その他意見	○今回は、「次の世代のために」が重要と考えられます。その意味では、少子高齢化の中、現在の世代にとってはやや痛みを伴う方向も将来のためには重要と考えられる項目、方向もあると考えられます。このあたり、議論は難しいところではありますが、重要な視点と考えています。	次の世代のためにという視点で貴重なご意見だと考えておりますので、答申案に向けて整理してまいります。
120	その他意見	全体のKPI目標設定について 基準の2025年度と、2033年度のみ目標値が設定されるようですが、マイルストーンとして2029年度の間目標値も設定した方が良く考えます。	現時点においては中間目標値の設定はせず、4年後の中間見直しの際、その時の社会情勢等を考慮し2033年の目標値に対する進捗評価を行いたいと考えております。